

事業の目的

目久尻川は、相模原市相武台団地付近にその源を発し、寒川町の一之宮で相模川に合流する、延長約20kmの一級河川です。

このうち、当センターでは座間市内の「小池仲橋」から、綾瀬市・藤沢市境の「用田橋」までの延長約12.9kmの区間を管理しています。

当センターの管理区間では、近年、激甚化、頻発化する洪水などの自然災害から県民の生命、財産を守るため、目久尻川が時間雨量50mmの降雨に対応できるよう護岸の整備を重点的、集中的に取り組んでいます。また、人や自然にやさしい水辺の整備にも取り組み、安全で安心できる水辺空間の創出を図っています。

令和4年度までに、「用田橋」より上流約1.4km区間の整備がおおむね完了しており、現在は、「道庵橋」上流の区間の地盤沈下等により堤防高が低下している箇所において、堤防の高上げと老朽化した護岸の再整備を行っています。



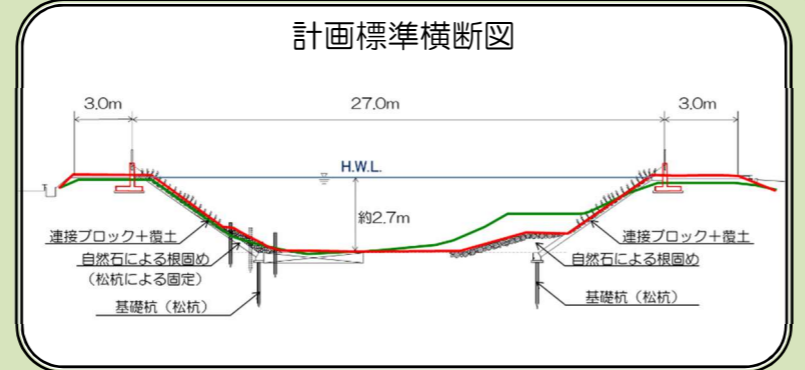
改修前の状況（村野橋上流付近）



改修後（堤防高上げ）の状況（弥生橋下流付近）

事業の概要

- 河川名；一級河川 目久尻川（めくじりがわ）
- 計画降雨；時間雨量50mm
- 護岸整備済区間；延長約9.9km
（管理延長の約77%）吉野橋～小池仲橋
- 護岸嵩上げ区間；延長約3.0km
（管理延長の約23%）用田橋～吉野橋
- ・河道幅員；約27m
- ・事業期間；平成19年度～



自然環境や親水性に配慮した護岸整備



植生ブロック+覆土構造を採用



平面図

